

令和2年5月13日

心臓血管内科・脳血管内科で治療を受けたことがある患者様・そのご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究「**脳卒中を含む急性循環器疾患の救急医療の適確化をめざした**

評価指標の確立に関する研究」(日本IBM株式会社 との共同研究)を実施しております。この研究は、倫理委員会の承認のもと、通常の診療で得られた記録のみを解析するものです。今回の研究では、全国救急搬送データ(活動事案毎データ)と病院についてからの入院診療データ(先行研究のJ-ASPECT studyと日本循環器学会循環器疾患実態調査(JROAD 研究)をマッチングすることで、救急搬送実態の効率化のための病院の配置適正化が目的です。電子カルテ情報から抽出した症状、身体所見、検査値などから予後、発症頻度を確認し、日常臨床で測られる症状、検査の結果をもとに、地域での発症の予想アルゴリズムを開発します。

この案内をお読みになり、この研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2013年4月～2019年3月の間に、通院・入院された方

【研究課題名】脳卒中を含む急性循環器疾患の救急医療の適確化をめざした評価指標の確立に関する研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 院長 飯原弘二

【研究の目的】一般的な検査項目の複数の結果を組み合わせ、それらをパターン認識手法によって解析し、循環器疾患の予後、診断予測を行うため

【利用するカルテ情報・資料】

性、年齢、併存疾患(高血圧、糖尿病、脂質異常症、虚血性心疾患、心房細動、喫煙指数、慢性腎臓病、慢性肝臓病、アルコール性肝炎)、胸痛など入院時主訴、アルコール飲酒歴、心エコー所見、心カテテル検査所見

薬剤(抗血小板剤、抗凝固剤、凝固促進因子、降圧薬、スタチン、脂質異常治療薬、糖尿病治療薬、抗不整脈薬)の有無

退院時 mRankin Scale、在院日数、下記の事由で入院されたか否か

- ① 死亡(心臓死、非心臓死)、② 冠動脈疾患(急性心筋梗塞、不安定狭心症、冠血行再建術)
- ③ 心不全による入院、④ 心房細動、⑤ 脳血管障害(脳血行再建術を含む)
- ⑥ 末梢動脈疾患(Rutherford 3以上あるいは血行再建術を要するもの)
- ⑦ 大動脈瘤、大動脈解離、⑧ 透析導入

検査等データ

入院時採血時の腎機能、肝機能、血液凝固、INR、血球、脂質

【外部機関への研究データの提供】

上記の情報を匿名化した上で、急性循環器疾患の予後・発症頻度の解析や、予想アルゴリズムを開発するため、共同研究施設である以下の機関に提供いたします。また、当院でも以下の施設及び本研究に包括医療費支払い制度(DPC)データの提供を承認した施設から上記の情報提供を受け、実施致します。

九州大学大学院医学研究院脳神経外科 研究責任者 有村公一、西村中

【研究期間】倫理委員会承認日より令和4年3月31日まで(予定)

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 予防疫学・医療情報部 担当医師 西村 邦宏
電話 06-6170-1070 (代表)